

決算審査特別委員会

第49号議案・平成25年度白石市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について及び第50号議案・平成25年度白石市水道事業会計利益の処分及び決算の認定並びに白石市下水道事業会計決算の認定については、定例会2日目（9月8日）の本会議において質疑が行われた後、議長及び監査委員（佐藤英雄）を除く全議員で構成する決算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会（委員長・四竈英夫、副委員長・小川正人）で、9月10日及び11日の2日間にわたる審査の結果、反対及び賛成の討論ののち、表決の結果、賛成多数で認定しました。審査の中で議論されたおもな内容は次のとおりです。

一般会計

〔質疑〕広報広聴費の生き生きメールによる市民からのまちづくり提案の募集について、26件の提案や提言があったが、その中で、実際採用されたものはあるのか。

〔答弁〕生き生きメールの意見・要望には、コンビニ収納を検討してもらいたいという意見があり、今回、コンビニ収納を導入することになった。

〔質疑〕市民バス運行管理事業について、平成24年度決算額対比で約1千500万円増額であるが、利用者は年々減少している。この状況をどのように分析しているのか。

〔答弁〕利用者の減少は、利用者の運行路線地域における少子化や定期的に利用する高齢者の減少が、主な要因と考

えている。路線別に見ると、越河線で4千156人の減、福岡線・三本木線・薬師堂線で約600人の減である。一方、白角線は698人の増となっている。

〔質疑〕今後の市民バス利用者の利便性をどのように図っていくのか。

〔答弁〕4月に各地区を回り懇談会を開催し、さまざまな意見や要望があった。これらの意見等を踏まえて、平成27年度の運行計画に反映させられるように検討している。

〔質疑〕スパッシュランドしろいし運営状況について、収入額が平成24年度よりも75万円ほど増えている。利用形態別利用者数の項目に「割引券入館」と「レストランのみ」が新たに加わっているが、その内容について説明願いたい。

〔答弁〕割引券については、会員の拡大キャンペーンを行い、個人会員には全館利用招待券2枚、市民会員には館内サービス券千円分と全館利用招待券2枚を進呈した。その利用の際にレストランも利用されたものである。

〔質疑〕スパッシュランドしろいし利用者数の多い月は、大会やイベントなどがあると

きだが、このイベントをもう少し増やすことは可能なのか。

〔答弁〕イベントについては、積極的に取り入れたいと考えている。平成25年度の新たな取り組みとして、寺川綾水泳クリニックや市内小学生対象の水泳教室を開催した。

〔質疑〕白石子ども子育て支援事業計画策定業務について、就学児童及び就学前児童の保護者を対象とするアンケート調査で、どのようなニーズがあったのか説明願いたい。

〔答弁〕調査は、就学前児童保護者の約8割の1千200人及び小学校1・3年生の保護者829人を対象に調査し、7割の回答を得た。これにより、幼稚園、保育園、各種子育て支援事業への利用意向を把握した。

今後の需要見込みは、現状より、全体的に3歳以上の児童の保育園希望が多いと把握している。

自由記載欄には、就学前・就学後ともに急な用事や病気の一時預かりなどの希望や、屋内・屋外の遊び場について

の要望などがあった。

〔質疑〕生ごみ資源化事業所（シリウス）は、学校給食センターなどへのお湯の供給をしているが、来年度には学校給食センターも移転する。今後、修繕等の費用の課題はどのように考えているのか。

〔答弁〕シリウスは、11年経過しているが、年数の割に老朽化している。施設より設備・機械等の老朽化が激しく、今回も補正予算を要求している。年々、修繕料等の経費がかさんできているため、今後のあり方を検討していかなければならないと考える。

〔質疑〕教育費のタブレット端末について、40台を白石中学校が管理し、各学校に貸し出している。その利便性から、増やしてほしいという要望があるが、今後どのように考えているのか。

〔答弁〕タブレット端末は、40台を試行的に導入した。現在は、あらゆるところに貸し出しをしてすべて揃っているという状況にはない。